

小山広域保健衛生組合人事行政の運営等の状況のお知らせ

令和2年度の状況

人事行政の公正性・透明性を高めるため、「小山広域保健衛生組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、管内住民の皆様へ、本組合職員の給与、勤務条件などの状況を公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員数の状況（各年4月1日現在）

| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 一般行政職 | 26人 | 24人 | 22人 | 22人 | 21人 | 21人 | 20人 |
| 技能労務職 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 |
| 合計 | 28人 | 26人 | 24人 | 24人 | 23人 | 23人 | 22人 |

※地方公務員の身分を保有する休職者、構成市町からの派遣職員を含みます。

(2) 部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

| 部門 | 区分 | 職員数 | | 対前年増減数 | | 令和2年度の 主な増減理由 |
|----------------|------|-----|-----|--------|-----|------------------|
| | | R元年 | R2年 | R元年 | R2年 | |
| 一部 一般 行政 | 総務企画 | 14人 | 12人 | △2人 | △2人 | |
| | 衛生 | 9人 | 10人 | 2人 | 1人 | |
| | 合計 | 23人 | 22人 | 0人 | △1人 | |

(3) 再任用制度の実施状況（令和2年4月1日）

| 部門 | 区分 | 常時勤務職員 | 短時間勤務職員 | 合計 |
|-------|----|--------|---------|-----|
| 一般行政職 | | 3人 | 10人 | 13人 |

(4) 採用試験の実施状況（令和2年度実施：令和3年4月1日採用）

| 年度 | 申込者数 | 受験者数 | 採用者数 | 競争率 |
|------|------|------|------|-----|
| 事務職員 | 実施無し | | | |
| 技術職員 | 2人 | 2人 | 1人 | 2倍 |
| 合計 | 2人 | 2人 | 1人 | 2倍 |

2 職員の人事評価の状況

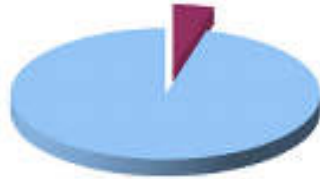
平成19年度から「人事評価制度」を試行導入し、平成22年度から本格実施しました。

「人事評価制度」は、職員が業績意識のもとで業務目標の達成や能力開発に取り組み、結果として、努力し成果を上げた職員が適正な処遇を受けることで意欲向上に繋げ、また、評価結果のフィードバックにより人材育成を図る仕組みとなっており、評価結果については、6月及び12月期の勤勉手当、1月期の昇給に反映しています。

3 職員の給与、勤務時間その他の勤務状況

(1) 人件費の状況 (令和2年度一般会計決算)

人件費 1億8,244万円(人件費比率4.5%)



歳出費 40億6,285万円

参考：令和元年度人件費比率5.6%

※人件費には正副管理者、組合議会議員、監査委員の特別職に支給される報酬を含みます。

(2) 職員給与費の状況 (令和2年度一般会計決算)

期末勤勉手当 3,238万円

職員手当(退職手当除く)
1,402万円



給料 9,429万円

給与費総額 1億4,070万円

(1人当たりの給与費 402万円)

*令和2年4月1日現在の職員数は、35人です。

(再任用の短時間職員10人を含んでいます。)

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (令和2年4月1日現在)

| 一般行政職 | | | 技能労務職 | | |
|--------------|--------------|------|--------------|--------------|------|
| 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均年齢 |
| 円 265,100 | 円 310,400 | 36歳 | 円 343,000 | 円 369,900 | 55歳 |

※ 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外手当などのすべての諸手当の額を合計したものです。

(4) 職員の初任給等の状況 (令和2年4月1日現在)

| 区分 | | 小山広域保健衛生組合 | 国 |
|-------|-----|------------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 182,200 円 | 182,200 円 |
| | 高校卒 | 150,600 円 | 150,600 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 135,900 円 | - |

(5) 一般行政職の級別職員の状況 (令和2年4月1日現在)

| 区分 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 7級 | 8級 | 計 |
|----------|--------|-------|-------|------|------|-------|------|------|--------|
| 標準的な職務内容 | 主事・技師等 | | 主査・主任 | | 係長 | 課長・所長 | | 部長等 | - |
| 職員数 | 3人 | 9人 | 3人 | 0人 | 1人 | 3人 | 1人 | 0人 | 20人 |
| 構成比 | 15.0% | 45.0% | 15.0% | 0.0% | 5.0% | 15.0% | 5.0% | 0.0% | 100.0% |
| 前年の構成比 | 23.8% | 28.6% | 19.0% | 0.0% | 9.5% | 14.3% | 0.0% | 4.8% | 100.0% |

- ※ 1 小山広域保健衛生組合給与条例に基づく給料表の級の区分による職員数です。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

(6) 特別職の報酬等の状況 (令和2年4月1日現在)

| 区分 | 報酬 | | | | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| | 管理者 | 副管理者 | 議長 | 副議長 | 議員 | 監査委員 | 顧問弁護士 |
| 報酬年額 | 70,000円 | 55,000円 | 60,000円 | 50,000円 | 45,000円 | 30,000円 | 480,000円 |

- ※ 特別職の報酬は、「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例」及び「小山広域保健衛生組合議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」により定められています。

(7) 職員手当の状況（令和2年度実績）

| 区分 | 内容 | | | | |
|---------------------------------|---|-------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 扶養手当 | (1) 配偶者及び父母等 | 6,500円 | | | |
| | (2) 子 ※満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子については、1人につき5,000円を加算 | 10,000円 | | | |
| 住手居当 | (1) 借家・借間居住者 | 支給限度額 | 28,000円 | | |
| 通勤手当 | (1) 交通機関等利用者 | 支給限度額 | 55,000円 | | |
| | (2) 四輪自動車使用者（片道2km上の通勤者） | 3,500円～31,600円 | | | |
| | (3) 自転車・バイク使用者（片道2km以上の通勤者） | 2,600円～31,600円 | | | |
| 期末・勤勉手当 | （令和2年度支給割合） | | | | |
| | | 管理監督職員以外の職員 | | 管理監督職員 | |
| | | 期末手当 | 勤勉手当 | 期末手当 | 勤勉手当 |
| | 6月期 | 1.30月 （0.725月） | 0.95月 （0.45月） | 1.10月 （0.625月） | 1.15月 （0.55月） |
| | 12月期 | 1.25月 （0.725月） | 0.95月 （0.45月） | 1.05月 （0.625月） | 1.15月 （0.55月） |
| 計 | 2.55月 （1.45月） | 1.90月 （0.90月） | 2.15月 （1.25月） | 2.30月 （1.10月） | |
| ○職制上の段階、職務の級等による加算措置 有 | | | | | |
| ※かっこ内は、再任用職員に係る支給割合です。 | | | | | |
| 退職手当 | 一般職の退職手当 | | | | |
| | 区分 | （自己都合） | （応募認定・定年） | | |
| | 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | | |
| | 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | | |
| | 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | | |
| 最高限度額 | 47.709月分 | 47.709月分 | | | |
| ○その他の加算措置 定年前早期退職特別措置（2%～45%加算） | | | | | |
| 地域手当 | 支給対象地域 | 支給率 | 国の制度（支給率） | 支給実績 | 職員1人当たり年間支給額 |
| | 小山市 | 3% | 3% | 3,346千円 | 95,581円 |
| 特殊勤務手当 | 職員全体に占める手当支給職員の割合 | | 100.0% | | |
| | 支給対象職員1人当たり平均支給年額 | | 35,857円 | | |
| | 手当の種類（手当数） | | 5種類 | | |
| | 代表的な手当の名称 | 支給額の多い手当 | | 聖苑業務に従事する職員 | |
| 多くの職員に支給されている手当 | | 特定の勤務箇所に勤務する職員 | | | |
| 時間外手当 | 元年度 | 年間支給総額 | 2,257千円 | | |
| | | 職員1人当たり年間支給額 | 84千円 | | |
| | 2年度 | 年間支給総額 | 1,312千円 | | |
| | | 職員1人当たり年間支給額 | 49千円 | | |

(8) 勤務時間の状況 (令和2年4月1日現在)

| 一週間の勤務時間 | 勤務の開始時刻 | 勤務の終了時刻 | 休憩時間 |
|----------|---------|---------|---------|
| 38時間45分 | 8時30分 | 17時15分 | 12時～13時 |

(9) 年次有給休暇の状況 (令和2年度実績)

| | |
|--------|------------------------------|
| 制度の概要 | 1年度につき20日付与。現年度付与分のみ翌年度に繰越可。 |
| 平均使用日数 | 13.6日 |

(10) 特別休暇等 (令和2年4月1日現在)

| 種 類 | 付 与 日 数 | |
|---------------------|---|---------------------------|
| 公民権行使のための休暇 | 必要と認められる期間 | |
| 裁判員、証人等として出頭するための休暇 | 必要と認められる期間 | |
| 骨髄提供のための休暇 | 必要と認められる期間 | |
| ボランティア休暇 | 5日以内 | |
| 結婚休暇 | 連続する7日以内 | |
| 生理休暇 | 2日以内 | |
| 妊婦の健診検査等のための休暇 | 妊娠満23週までは4週間に1回 妊娠満24週から満35週までは2週間に1回 妊娠満36週から分べんまでは1週間に1回 産後1年までは1回 | |
| 妊婦の通勤混雑緩和のための休暇 | 1日を通じて1時間以内 | |
| 産前休暇 | 7週間又は8週間以内 | |
| 産後休暇 | 8週間以内 | |
| 育児時間 | 1日2回それぞれ30分又は1日1回60分 | |
| 妻の出産 | 2日以内 | |
| 育児参加休暇 | 5日以内 | |
| 子の看護のための休暇 | 5日以内 (2人以上は10日) | |
| 短期の介護休暇 | 5日以内 (2人以上は10日) | |
| 忌引 | 親族との続柄に応じ7日から1日以内 | |
| 父母の祭日 (法要) | 1日以内 | |
| 夏季休暇 | 連続する6日以内 | |
| 災害による現住居の喪失等 | 7日以内 | |
| 災害又は交通機関の事故等 | 必要と認められる期間 | |
| 災害時における身体の危険回避 | 必要と認められる期間 | |
| 病 気 | 公務上の負傷又は疾病、結核性疾患 | |
| 休 暇 | その他の私傷病 | |
| 組合休暇 (任命権者が許可する場合) | 30日以内 | |
| 修学部分休業 | 1週間の勤務時間の1/2以内 (無給) | |
| 自己啓発等休業 | 大学等課程の履修 | 2年 (特に必要がある場合は3年) 以内 (無給) |
| | 国際貢献活動 | |
| 配偶者同行休業 | 3年以内 (無給) | |

4 職員の休業に関する状況

(1) 育児休業状況（令和2年度実績）

| 種 類 | 制 度 概 要 | 取得人数 |
|---------|---|------------|
| 育児休業 | 子が3歳に達する日まで取得可（給与無給） | 1人 (1人) |
| 部分休業 | 小学校就学前の子を養育する場合に、1日2時間以内で取得可（取得時間分給与減額） | 0人 (0人) |
| 育児短時間勤務 | 小学校就学前の子を養育する場合に取得可。1週間の勤務時間を19時間25分、19時間35分、23時間15分、24時間35分にできる（勤務時間数に応じて給与支給） | 0人 (0人) |

※それぞれ令和2年度の新規取得者（括弧内は男性職員）です。

(2) 介護休暇の状況（令和2年度実績）

| 制 度 概 要 | 取得人数 |
|--|------|
| 配偶者、父母、子などの負傷、疾病、老齢により、介護をする場合に取得できる。連続する6カ月の期間内において必要と認められる期間（給与無給） | 0人 |

5 職員の分限及び懲戒処分の状況

① 分限処分者数（令和2年度実績）

| 区 分 | 降任 | 免職 | 休職 | 降給 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|
| 処分者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |

※ 分限処分とは、公務の能率の維持やその適正な運営の確保の目的から、勤務実績不良、心身の故障等のため職責を十分に果たせない等の場合に行うものです。

② 懲戒処分者数（令和2年度実績）

| 区 分 | 戒告 | 減給 | 停職 | 免職 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|
| 処分者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |

※ 懲戒処分とは、職務上の義務違反や公務員としてふさわしくない非行がある場合に、職員に一定の義務違反に対する道義的責任を問い、公務における規律と秩序を維持することを目的として行うものです。

6 職員のサービスの状況

(1) 【サービス規律の概要】

すべての職員が、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務することと全力を挙げて職務の遂行に専念することが、職員のサービスの根本原則とされています。

具体的には、職務に専念する義務、法令や上司の職務上の命令に従う義務、信用を傷つけ不名誉となる行為の禁止、秘密を守る義務、政治的行為の制限、ストライキ等の争議行為の禁止、営利企業等に従事することの制限などです。

(2) 営利企業等の従事の状況（令和2年度実績）

| 営利企業等の従事の内容 | 承認職員数 |
|---|-------|
| 営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員、顧問、評議員及び当該団体の重要方針決定に参画する職員の地位を兼ねる場合 | 0人 |
| 自ら利益を目的とする私企業を営む場合 | 0人 |
| 報酬を得て事業もしくは事務に従事する場合 | 2人 |

7 職員研修の状況

職員研修では、行政の担い手である職員一人ひとりの能力開発と組織の活性化を図り、職員研修の充実・浸透や自己啓発意欲の促進を推進し、住民福祉の向上を実現するため、次のような研修を行いました。

(令和2年度実績)

| 区 分 | 種 類 | 受講者数 |
|-----------------|-----------------------------|------|
| 小山地区職員研修協議会主催研修 | 公務員倫理研修 | 3人 |
| | 法務研修 | 3人 |
| | キャリアデザイン研修 | 2人 |
| | 政策形成研修 | 1人 |
| | 再任用職員研修 | 2人 |
| 栃木県市町村振興協会主催研修 | メンタルヘルス講座 | 1人 |
| | タイムマネジメント講座 | 1人 |
| | 行政法講座 | 2人 |
| | OJT研修 | 1人 |
| | 情報活用力向上研修 | 1人 |
| | 折衝・交渉研修 | 1人 |
| 派遣研修その他 | 廃棄物処理施設技術管理者講習(有機性廃棄物資源化施設) | 1人 |
| | 廃棄物処理施設技術管理者講習(し尿・汚泥再生処理) | 1人 |
| | 安全衛生推進者養成講習 | 4人 |
| 計 | | 24人 |

8 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1) 共済制度の状況

| | 短期給付事業 | 長期給付事業 | 福祉事業 |
|--------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 栃木県市町村職員共済組合 | 職員と家族の病気・出産や災害等に対する給付 | 退職・障害・死亡に対する年金や一時金の給付 | 健康の保持増進、保養施設の運営、貸付、共済貯金等 |

| | 事業名 | 主な事業内容 |
|--------------|-------------|--|
| 小山市職員共済会 | 補助金事業 | 人間ドック・PET検査・脳ドック利用助成 (自己負担額の7割(新小山市市民病院の人間ドックは9割)、脳ドックは一律10,000円) (一財)小山市勤労者共済サービスセンター特別会員 |
| | | 掛金事業 |
| | 退会給付金 | 会員年数に応じて支給 |
| | 結婚祝金 | 3万円 |
| | 銀婚祝金 | 2万円 |
| | 傷病見舞金 | 1~2万円(期間に応じて支給) |
| | 出産祝金 | 1.5万円 |
| | 入学祝金 | 1万円 |
| | 卒業祝金 | 1万円(中学校卒業) |
| | 永年勤続祝金 | 勤続20年 2万円の旅行券または商品券 勤続30年 6万円の旅行券または商品券 |
| | 死亡弔慰金 | 1~10万円(会員との関係に応じて支給) |
| | 災害見舞金 | 5~30万円(災害の程度に応じて支給) |
| | 調整給付金 | 5万円 |
| | リフレッシュ助成金 | 5,000円を限度に助成 |
| 文化・体育クラブ活動助成 | 1団体につき年間3万円 | |

※ 職員の福利厚生事業については、平成元年4月から小山市職員共済会に加入しています。

① 小山市職員共済会補助率（給料月額に対する負担金率）

| 区分 | 職員掛金 | 組合補助金 | 負担割合（職員：組合） |
|-------|----------------------------|----------|-------------|
| 令和2年度 | 326,413円 (給料月額の1000分の4) | 260,000円 | 1 : 0.797 |

② 令和2年度補助金決算額等

| 補助金決算額 | 会員数 | 会員1人当たり補助金負担額 |
|----------|-----|---------------|
| 260,000円 | 25名 | 10,400円 |

③ 健康管理事業

| 区分 | 対象者 | 受診者数・回数 |
|------|--------|--------------|
| 健康診断 | 定期健康診断 | 全職員 23人 |
| | 人間ドック | 30歳以上の職員 12人 |

(2) 公務災害の制度及び状況

| 区分 | 内容 | 人数 |
|-------------|-------------------------|----|
| 地方公務員災害補償基金 | 一般職員の公務中及び通勤途中の被災に対する補償 | 0人 |

9 公平委員会の報告関係

令和2年度栃木県人事委員会の業務の処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

| 業 務 内 容 | 件 数 |
|----------------|-----|
| 勤務条件に関する措置要求 | 0件 |
| 不利益処分に関する不服申立て | 0件 |
| 職員からの苦情の処理 | 0件 |

10 職員の退職管理の状況

令和2年度に退職した職員のうち、小山広域保健衛生組合職員の退職管理に関する条例に基づき、再就職の届出があった件数(令和3年4月30日現在)

| 退職年度 | 件数 |
|-------|----|
| 令和2年度 | 0件 |